

コロナ禍における授業研究の在り方を探る

市内教員に向けて 指導教諭による授業をオンラインで公開します！

コロナ禍においても、「よりよい授業づくり」について教員が学ぶ機会をつくるため、オンラインを活用した授業研究を行います。

指導教諭が行う授業を市内教員にオンラインで公開し、授業公開後には、視聴した教員がオンライン上で6名程度のグループに分かれ、授業についての協議を行います。

つきましては、富士見小学校4年生の公開授業や教員同士のオンライン協議等の様子を報道機関に公開いたしますので、お知らせします。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、授業を参観することが難しくなっている中、これからの時代における授業研究の在り方を考えていきます。

実施日：令和2年11月27日（金）

場所：相模原市立富士見小学校

日程：① 授業についての事前説明 14:20 ~ 14:35
② 公開授業 14:45 ~ 15:30

学年：小学校4年生

教科：国語

教材：プラタナスの木

授業者：鈴木 真樹 指導教諭（富士見小学校）

③ グループ協議 15:45 ~ 16:20

④ 指導・講評（指導主事） 16:35 ~ 16:45

取材：取材を希望する場合は、担当までお問合せください。

※取材は、当日、富士見小学校における現地取材をご案内します。

【参考】指導教諭とは、本市教員の指導力の向上を図るため、高い専門性と優れた指導力を生かして、教員を実践的に指導することを目的として設置された職であり、本市には小学校籍の指導教諭5名が配置されています。

連絡先

相模原市教育委員会

教育センター

電話 042-756-0290(直通)

担当者 中 里